

平成
25
年度

予算

収入支出総額 8,735百万円

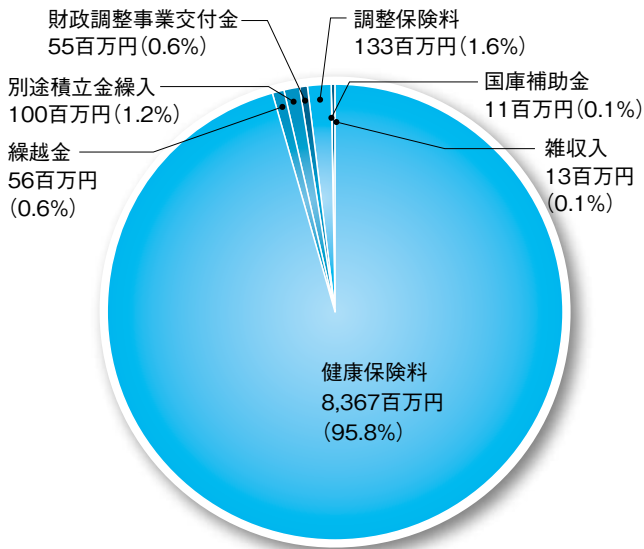
経常収支 100百万円

= 経常収入 8,391 百万円 - 経常支出 8,291 百万円

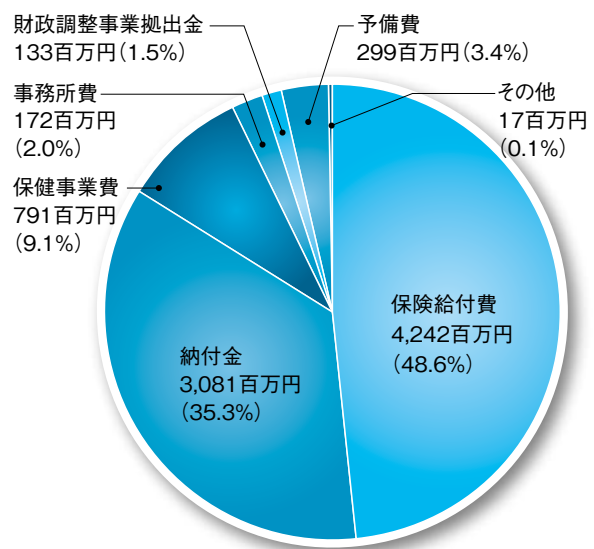
健康保険料率は 8.5% になります

▶ 一般勘定（健康保険）

● 収入



● 支出



予算の基礎数値(一般勘定)

総加入者数	28,911名	標準報酬月額	478,245円
被保険者数	14,062名	被保険者平均年齢(特退被保険者除く)	38,85歳
被扶養者数	14,849名	健康保険料率	85/1,000

※(事業主55/1,000 被保険者30/1,000)

2月15日(金)に開催されました第187回組合会において、当健保組合の平成25年度予算が可決成立しました。当健保組合を取り巻く財政状況は大変厳しいですが、保険料率の引上げにより平成25年度は100百万円の経常黒字の予算を組みました。

前年度予算との比較

支出

● 保険料収入

保険料率の引上げにより、約10億円増収となる見込みです。

支出

● 納付金

高齢者医療費支援のための納付金は2億90百万円増えます。そのうち前期高齢者納付金は2億30百万円増加します。

● 保険給付費

被保険者数の減少により、77百万円減少の予算を組みました。

● 保健事業費

96百万円削減の予算を組みました。

4月分から健康保険料率が変わります

健康保険料率が3年ぶりに改定され、4月分から8.5%に上げられます。高齢者のための納付金負担が年々増加する中、赤字分は別途積立金の取り崩しで対応してきました。今年度末の別途積立金が大きく減少する中で、来年度は黒字決算を目指すべく、先の組合会で来年度の保険料率上げを決定しました。後期高齢者支援金の完全総報酬割への移行が検討されるなど、今後とも当健保組合にとっては厳しい財政運営が予想されます。疾病予防策の充実と保健事業費の一層の見直しを行ってまいりますので、ご理解のほど宜しくお願いいたします。

変更前	→	変更後
7.5%		8.5%

(負担割合)	
グループ役職員	3.0% (+0.5%)
会社	5.5% (+0.5%)

※任継・特退の被保険者の方は全額負担となります。

月額負担の計算例

グループ役職員 標準報酬月額が50万円の場合
 $500,000円 \times 3.0\% = 15,000円$ (前年度比+2,500円)

特例退職被保険者 標準報酬月額は一律29万円
 $290,000円 \times 8.5\% = 24,650円$ (前年度比+3,650円)

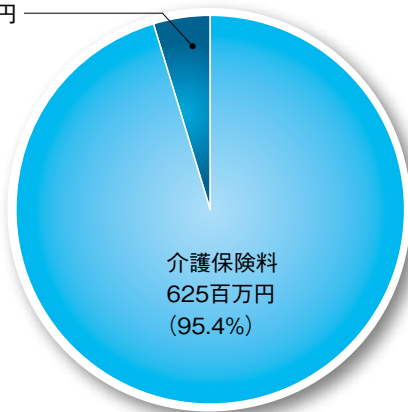
参考:保険料率と別途積立金推移

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
保険料率(%)	5.0	5.0	6.0	6.5	7.5	7.5	7.5	8.5
別途積立金(億円)*	29.38	24.69	18.39	16.42	18.26	20.90	17.91 (見込み)	16.91 (予算)

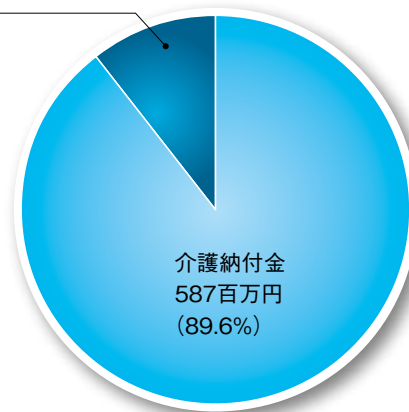
*別途積立金は、健保運営における不測の事態に備えるもので、企業でいうところの内部留保にあたります。

▶ 介護勘定

繰越金
30百万円
(4.6%)



積立金
68百万円
(10.4%)



予算の基礎数値(介護勘定)

介護保険第2号被保険者数	9,852名
介護保険第2号被保険者たる被保険者数	6,500名
平均標準報酬月額	595,000円
介護保険料率	11/1,000

標準報酬月額についてのお知らせ

適用年月日 平成25年4月1日～平成26年3月31日

- 任意継続被保険者の平成25年度標準報酬月額は、法令により500,000円または従前の標準報酬月額のいずれか低い方とします。
- 特例退職被保険者の平成25年度標準報酬月額は、規約により290,000円とします。